

JILPT 調査シリーズ

No.208

2021年3月

就業者のライフキャリア意識調査 —仕事、学習、生活に対する意識

The Japan Institute
for
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



JILPT 調査シリーズ No. 208

2021年3月

就業者のライフキャリア意識調査 —仕事、学習、生活に対する意識

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
The Japan Institute for Labour Policy and Training

ま え が き

本研究は、プロジェクト研究「全員参加型の社会実現に向けたキャリア形成支援に関する研究」サブテーマ「労働者の主体的なキャリア形成とその支援のあり方に関する研究」に係る大規模アンケート調査の結果を取りまとめ、詳細な分析を行ったものである。本研究の実施によって、キャリア形成支援施策の背景となる労働者の仕事・学習・生活等に対する意識を中心としたライフキャリア意識全般について把握することを目的とした。

特に、近年、我が国の就業者のキャリアをめぐる環境は大きく変化しつつある。人生 100 年時代を見据えた経済社会システムを創り上げるための政策のグランドデザインに関する議論がなされるなか、働く人々のキャリア及びその支援についても、各人の人生全体との関わりの中でその必要性・重要性を検討する必要がある。例えば、本人のキャリア及びキャリア形成支援ニーズ、スキルなどを、本人の家族構成、年収、就労形態、勤務先規模等の従来から検討がなされてきた要因の他に、学校時代の学習、リカレント学習・生涯学習、人間関係、性格特性、社会観、結婚観・家族観、幸福感、老後観・健康観等の様々な意識との関連で検討する。これにより、就業者のライフキャリアに関する意識全般を把握することができる。さらにこれにより、従来の検討の範囲では十分に明らかにされなかった新たなキャリア形成支援ニーズ、及びキャリア形成支援施策につながるシーズを掘り下げて示唆することが可能となると考えられた。

以上の問題意識から、性別×年代（20代、30代、40代、50代）×雇用形態等（正規就労、正規就労以外（自営等含む））を労働力調査等の比率に応じて割り当てられた 6,000 人を対象に調査を実施し、就業者のライフキャリアに関する意識の実情を詳細に明らかにし、就業者のライフキャリア意識と人生・生活全般における広汎な意識との関連を検討した。さらには、1年後の追跡調査を行い、部分的にパネルによる検討を行った。

本研究によって、今後の我が国におけるキャリアコンサルティング施策等に有益に活用され、キャリア形成支援施策全般に貢献し、寄与するものとなれば、幸いである。

2021年3月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 樋口 美雄

執筆担当者(執筆順)

氏名
しもむらひでお
下村英雄

所属

労働政策研究・研修機構副統括研究員

(第1章、第6章、第10章、第11章、第12章)

いわさきくみこ
岩崎久美子

放送大学教養学部教授(第2章、第3章)

あらめまき
新目真紀

職業能力開発総合大学校能力開発院准教授(第4章)

たかはしひろし
高橋浩

ユースキャリア研究所代表(第5章、第7章)

くろさわたくむ
黒沢拓夢

労働政策研究・研修機構アシスタント・フェロー

東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース(第8章、第9章)

目 次

第1章 本研究の問題意識・目的・方法	1
1. 本研究の問題意識	1
2. 本研究の目的	4
3. 本研究の方法①	5
4. 本研究の方法②（2020年調査の追加）	8
5. 本調査シリーズの構成と各章の概要	9

I. 学習

第2章 子ども時代の経験が学業やその後の社会生活へ及ぼす影響	19
1. はじめに	19
2. 子ども時代の経験の分布と総量	19
3. 現在の活動の分布と総量	25
4. 経験の内容	28
5. 過去の経験と現在の活動との関係	31
6. 過去の経験と現在の活動の暮らし向きと幸福度との関係	36
7. おわりに	38
第3章 成人期の学習活動	41
1. はじめに	41
2. どのような人が学習しているか	41
3. 学習の目的	45
4. 学習の障壁	47
5. 学習重要性の認識を規定するもの	51
6. 学習活動や研修、教育訓練の内容	54
7. 技術革新に対応する学習	60
8. おわりに	62

II. 仕事

第4章 就業者のキャリア・スキル・訓練に関する意識	67
1. はじめに	67
2. 就業者の生涯を通じたキャリア計画の考え方	67
3. 職業・キャリアも含めた生活全般についての問題点	76

4. 職業やキャリアに関する支援やサービスの利用に関する認識.....	83
5. 職業やキャリアについて問題を感じる程度.....	88
6. 専門のカウンセラーに相談したいと思う程度.....	91
7. 保有スキルに関する認識.....	94
8. おわりに.....	99
第5章 キャリア形成のプロセスと転職及び就職活動との関連.....	101
1. はじめに.....	101
2. 職場や職業との適合.....	102
3. 一人前としての発達.....	106
4. 職業価値観について.....	109
5. キャリア形成のプロセス.....	114
6. 転職経験について.....	117
7. 転職希望について.....	121
8. 就職活動について.....	126
9. おわりに.....	133
第6章 就業者の職場観とキャリア意識との関連.....	138
1. はじめに.....	138
2. 回答者の属性別の職場観の特徴.....	139
3. 職場観と他のキャリア意識との関連.....	144
4. 職場観の特徴.....	151
5. 職場観に影響を与える要因.....	154
6. 職場観が他のキャリア意識に与える影響.....	156
7. おわりに.....	158
Ⅲ.生活	
第7章 幸福感とライフキャリアの関連について.....	163
1. はじめに.....	163
2. 属性による違い.....	164
3. 経済的な豊かさとの関連.....	168
4. 雇用状況との関連.....	172
5. 健康との関連.....	176
6. 人や社会とのつながりとの関連.....	177
7. 環境との関連.....	179

8. 将来展望との関連	181
9. 個人特性との関連	184
10. 幸福感の規定要因	189
11. おわりに	192
第8章 パーソナリティと客観的属性・キャリア・主観的意識について	195
1. はじめに	195
2. 性別・年齢別のビッグ・ファイブ・パーソナリティ特性の特徴	195
3. 現在の勤務先の特徴別のビッグ・ファイブ・パーソナリティ特性の特徴	199
4. 転職経験・個人年収・世帯年収別のビッグ・ファイブ・パーソナリティ特性の特徴	205
5. ビッグ・ファイブ・パーソナリティ特性が与える影響	210
6. おわりに	213
第9章 人的ネットワークと客観的属性・キャリア・主観的意識について	216
1. はじめに	216
2. 性別・年齢別の人的ネットワークの特徴	217
3. 社会的属性毎の人的ネットワークの特徴	219
4. 転職活動やキャリア意識	225
5. 生活意識との関連	229
6. 学習意欲との関連	232
7. おわりに	234
第10章 社会観・恋愛観・家族観・将来観・健康観・精神性について	237
1. はじめに	237
2. 社会観	237
3. 恋愛観	243
4. 家族観	246
5. 将来観	251
6. 健康観	258
7. 精神性	262
8. おわりに	265
第11章 2020年調査(1年後調査)との比較	270
1. はじめに—2020年調査(1年後調査)実施の問題意識	270

2. 2019年調査と2020年調査の比較.....	271
3. 2019年調査から2020年調査への意識変化の背景.....	280
4. おわりに.....	300
第12章 調査結果からの示唆－政策的インプリケーション.....	304
1. 「学習」「仕事」「生活」の各種の意識に対する示唆.....	304
2. 学習.....	304
3. 仕事.....	307
4. 生活.....	310

資料

調査項目及び単純集計表（2019年調査）

調査項目及び単純集計表（2020年調査）